

2016 - 17年度 RI テーマ



人類に  
奉仕する  
ロータリー

Rotary International  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

良き出合いを大切に！

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立：1973年2月23日  
●会 長：中澤 剛  
●幹 事：高橋 広一  
●会報委員長：上山 惣太

今週のプログラム

第2112回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「クラブソング」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 「ロータリーの友」紹介  
辻田 撰広報・雑誌委員長
- ⑦ 卓話 「ロータリー財団について」  
大橋 秀造R財団委員長
- ⑧ 閉会 点鐘

来週の予定

第2113回例会 11月25日(金)

- ☆卓話なし
- ☆第3回クラブフォーラム  
社会奉仕委員会部門  
堀内 伸也社会奉仕委員長

\*11/26(土) 第一回広報委員長会議

於：薬業年金会館 301号室  
登録9:30～ 会議10:00～12:00  
辻田 撰広報・雑誌委員長 出席予定

前週の例会記録

2016年11月4日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2111回	29名	17名	77.3%	出席義務免除 7名(出1)
第2109回	29名	18名	78.3%	補 填 5名

ニコニコ箱

- 松本ガバナー、本日はどうぞよろしくお願い致します。  
中澤 剛会員
- ①誕生日祝・結婚記念日祝、ありがとうございます。  
②松本ガバナー、黒田幹事、ご指導ありがとうございます。  
鈴木 洋会員
- 松本ガバナー、黒田様、本日はありがとうございます。  
大松 桂右会員
- 松本進也ガバナー公式訪問お世話になります。  
森下 慶治会員
- 松本ガバナー、黒田地区幹事、ご訪問ありがとうございます。  
山田 哲男会員
- 松本ガバナー、黒田地区幹事、本日はご訪問ありがとうございます。  
長尾 穰治会員
- 松本ガバナー、黒田地区幹事、公式訪問ありがとうございます。御指導下さい。  
池本 繁喜会員

●奥田さん、紺綬褒章受章おめでとうございます。  
益々の御活躍をお祈り申し上げます。

品川 芳洋会員

●松本ガバナー、黒田地区幹事、ご訪問ありがとうございます。  
桑田 タア子会員



11月誕生月祝  
鈴木会員



11月結婚記念日祝  
鈴木会員

●**今回合計 9,000円**

●**累計 326,010円**

### 会長の時間

本日は、今月のガバナー月信のトピックスをお伝えいたします。

○ガバナーメッセージでは、ロータリー財団月間について記載されています。

・本年度は、ロータリー財団100周年の記念すべき年で、2017年6/10~14のアトランタRI国際大会まで、世界各国での財団活動における祝賀行事を奨励されています。

・日本の祝賀行事は、11/27(日)に東京でジョン・ジャーム RI 会長を招きロータリー財団記念シンポジウムが開催されます。

・当地区では、当地区では未確定ながら財団委員会、社会奉仕委員会が協議し、任意の全クラブ参加型の社会奉仕プロジェクトが提案予定との事です。

また、12月9、10日の地区大会においても財団100周年の祝賀と位置づけ、記念イベントの色彩を帯びたものとされるようです。

・RI会長が3つの強調事項に含められた「ポリオ撲滅」

の歴史がご紹介されています。

ポリオ撲滅に関しては、日本人の2人のロータリアンが素晴らしい活動を行ったことでも有名で、東京麹町RCの故・山田 彝(つね)会員、故・峰 英二会員の精力的な活動と報告が、ポリオ撲滅運動提唱の原動力となり、RIのポリオ・プラス撲滅運動に発展したとの事です。

現在99.9%の撲滅までこぎつけましたが残念ながら本年8月11日、ナイジェリアで3名のポリオの発生が認められました。しかし、撲滅まであと一歩というところまでできていますので、これも、私も是非達成したいと思っています。

○ロータリー財団委員長もガバナー同様、ポリオ撲滅にむけての文章が、記載されています。

○11月に「世界インターアクト週間」がある事からインターアクトとは何かという事について記載されています。

### 幹事報告

①次週11/11(金)は定款による休会となりますのでお間違えのなきようお願い致します。

### 卓話

「2016-17年度 RI 会長テーマ及び  
第2660地区ガバナー方針」

RI 第2660地区

ガバナー 松本 進也氏



内容につきましては添付別紙の通り。

## 次年度役員理事の件

指名委員長 山田 哲男

次年度の役員理事が下記の通り指名され、11/4  
(金)の理事会にて承認されましたので、お知らせ致します。

会長ノミニー (2018-19年度会長候補者)	品川 芳洋
----------------------------	-------

### 2017-18年度 役員・理事候補者

クラブ運営委員長・会場監督 ・副会長 理事・役員	大橋 秀造
幹事 理事・役員	高岡 正和
会計 理事・役員	鈴木 洋
職業奉仕委員長・会長エレクト 理事・役員	品川 芳洋
会員組織委員長 (直前会長) 理事・役員	中澤 剛
奉仕活動委員長 理事	山田 哲男
理事 IM実行委員長	石川 義一

☆大松 桂右 2017-18年度会長は昨年12月の年次総会において承認済です。

## 11月度定例理事会報告

幹事：高橋 広一

●日時：2016年11月4日(金)  
例会后 13:47~14:20

●場所：例会場

●出席者：理事役員7名

案件：

1. 次年度当クラブホストIMロータリーデー準備の件  
⇒2018年4月14日(土)を第一希望、2018年3月31日(土)を第二希望として地区に連絡する。(継続)
2. 会計報告10月分⇒承認
3. 指名委員会より次年度理事役員構成の件  
⇒この案件のみ例会前に協議し、承認。11/4の例会の席上で発表。詳細については左の通り。
4. 2018-19年度ガバナー補佐候補者推薦の件  
⇒当クラブからは該当者なしで地区に連絡する。(承認)
5. 次年度地区委員会出向者推薦の件  
⇒当クラブからは推薦者なしで地区に連絡する。(承認)
6. クラブから奥田様へ御祝いの件  
⇒12/16(金)の新入会員歓迎会の時にクラブから奥田様へ御祝いをする。詳細については親睦委員長に一任する。(承認)
7. 年次総会(12/16)における選挙管理委員(2名)、立会人(2名)選出の件  
⇒選挙管理委員は池本会員、辻田会員、立会人は桑田会員、安田会員とする。(決定)
8. 11/17(木)事務局休暇の件(承認)
9. 事務局年末年始休暇の件  
⇒12/27(火)~1/4(水)<1/5(木)より出勤>で承認
10. 新入会員歓迎会の件  
⇒12/16(金)年次総会終了後例会場にて開催する。(承認)

以上

11/4(金)

八尾東 RC

<公式訪問・冒頭挨拶>

2016-17 年度 ガバナー

松本進也

皆さん、こんにちは。今年度第 2660 地区ガバナーを拝命いたしました大阪北 RC の松本進也でございます。本日はガバナー公式訪問に参りました。よろしくお願いいたします。

貴クラブは 1973 年 2 月 23 日、八尾 RC をスポンサークラブとして創立され、43 周年を迎えられた歴史あるクラブです。地区には 2009 年度に鈴木ガバナー補佐にご出向頂きました。地区へのご協力に感謝申し上げます。

活動計画書を拝読いたしますと、奉仕活動といたしましては、各委員会が個々にしっかりと活動を行われ、全体としてバランスの取れた活動を行われています。

まず、社会奉仕委員会では八尾市内の障害者に対する援助の実施、環境保全委員会では永年に亘り、継続されてきた植樹の管理・点検を行われています。このような地域に密着された活動は非常に重要であります。我々ロータリー活動の起源は公衆トイレの設置から端を発したように、まずは地域のニーズを知り、地域から信頼を得ることが肝要であり、後には会員増強にも繋がります。貴クラブにおかれましてはまさにその神髄とも言える地域への貢献を重要視されていることに敬意を表します。

また、国際奉仕委員会では、姉妹クラブのダウンタウンマニラ RC との共同事業も進めておられます。今年は財団 100 周年の記念すべき年にあたり、RI 会長も本部も記念事業や祝賀行事を推奨しています。是非、記念事業の一環として姉妹クラブのご縁で実現して頂ければと思います。

地区でも財団委員会・社会奉仕委員会の共同プロジェクトを立案中でございます。地区を挙げてのロータリー財団 100 周年の祝賀としたいと考えておりますので、是非ご協力の程、お願い申し上げます。また詳細は決定次第、お知らせいたします。

先月、10 月 24 日は世界ポリオデーであり、今月 11 月はロータリー財団月間であります。

是非、この機会にポリオや財団につきまして、より一層のご協力を頂けましたら幸いです。

中澤剛会長は本年度のクラブテーマを「良き出会いを大切に！」と策定され、会長方針として、「全員参加による年間活動」、「選択と集中」、「ベテランと若手の融合」と非常に明快な方針を打ち出されておられ、クラブ内に留まらない他のロータリアンとの出会い、ロータリー以外の方々も含め、人類に奉仕するロータリアンとして、全ての人々との出会いを大切にしたいと説いておられます。今年度は、3 年に 1 度の規定審議会が開催され、クラブの裁量権や独立性を重んじるような採決も可決されたことは皆様もご存じの通りです。この混沌とした時代だからこそ、我々はロータリー精神という志のもと集い、中澤会長のおっしゃられるように、「良き出会い」を重ねてゆくことが、会員の皆様が強固な精神的繋がりを持ちうるクラブとなります。クラブ会員が一斉に同じ方向を向くからこそ、同じ目標に向かって、奉仕活動もより連帯感を持った、価値ある奉仕活動となることと存じます。中澤会長は会長方針の中で委員会毎にご希望やご意見を記されておられます。是非、本年度クラブテーマのもと、このご縁で集った 29 名の皆様が、一丸となって素晴らしい奉仕活動に邁進されることを祈念申し上げます。

以上

## 2016-17 年度 RI 会長テーマ及び第 2660 地区ガバナー方針

2016-17 年度 ガバナー  
松本 進也

### 【2016-17 年度 RI 会長方針】

それでは、国際協議会で RI 会長による RI 会長テーマの説明の 4 分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

RI 会長講演映像「アインシュタイン」

4 分間

改めまして、2016-17 年度 RI 会長テーマは、“Rotary Serving Humanity” -人類に奉仕するロータリー- であります。

これは、「『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう。」という意味であります。

また、国際協議会で強調されたことが 3 点あります。

**第一に**、2016-17 年度はロータリー財団 100 周年の記念すべき年にあたることでした。

**第二に**、2018 年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

**最後に**、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことであります。当方も全てを具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

### 【本会議場看板】

この国際協議会の本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来 “Enter to learn, Go forth to serve” 「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3 年前より “JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION” となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

### 【2016-17 年度 第 2660 地区ガバナー方針】

さて、先程申しました RI 会長テーマを受け、第 2660 地区 2016-17 年度ガバナー方針を “The Ideal of service” -ロータリーの根幹精神- と決めました。当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されています。

1920 年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、‘The Ideal of service’ の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service” の本来の意味と合致しないからです。日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と” service” の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

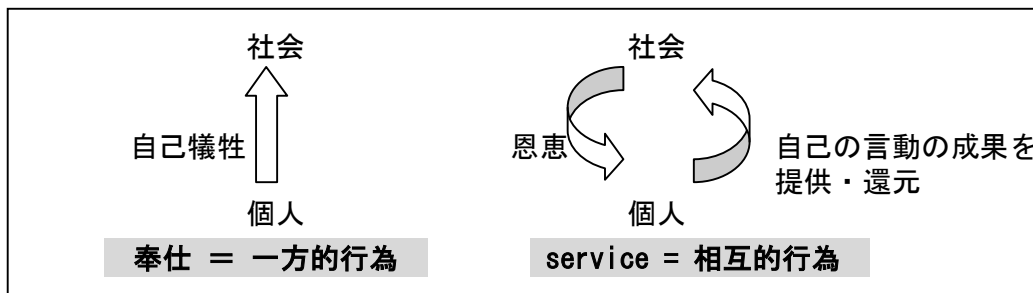
**\* 奉仕 = 一方的行為**

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

**\* service = 相互的行為**

矢印は個人と社会を循環しています。

個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。

**【2016-17 年度 第 2660 地区具体的目標】**

2016-17 年度の第 2660 地区における具体的目標を次の 5 項目と決めました。

1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化による IT の促進
3. ロータリー財団 100 周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM 再編成

**1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践**

この基本理念を第 2660 地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。

この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということであります。

**2. ガバナー月信のペーパーレス化による IT の促進**

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第 2660 地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。この移行には三つの利点があります。第一に IT 化の促進、第二に地区活動費の充実です。

第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

**3. ロータリー財団 100 周年のお祝い、ポリオ撲滅**

今年度はロータリー財団創立 100 周年の記念すべき年であり、RI は我々へ「100 周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RI と共に世界で成し遂げた功績を改

めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのこと。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたいです。

また、RI 会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。国際協議会で RI 会長によるポリオについての 5 分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

RI 会長講演映像「ポリオ」 5 分間

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2 番目となります。

今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

#### 4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の 5 つの観点を軸としています。

先程の 3 本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは 3 人の方が選抜されました。

RI は戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

#### 5. IM 再編成

昨年 12 月 5 日の地区大会決議第 8 号にて「IM の在り方を決議する件」が採決され、2018-19 年度の山本 G 年度を目処に、時代にあった IM 再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山 G 年度に継承できるように尽力いたします。両案は 9 月 24 日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

#### 【2016-17 年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように決めました。

1. 年次寄付	1 名あたり \$160	
2. ポリオ撲滅	1 名あたり \$60	計\$220
3. ベネファクター	各クラブ 1 名	
4. 米山奨学金	1 名あたり 30,000 円	
5. 会員増強	1 クラブ純増 2 名	

まず、年次寄付を 1 名あたり \$160、ポリオ撲滅に 1 名あたり \$60 の 計\$220 とさせていただきます。

これは、ロータリー財団 100 周年の記念すべき年にあたり、RI 会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、**ベネファクター**を各クラブ 1 名 といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近 3 年間同様、一人当たり 30,000 円といたしました。

最後に**会員増強**を 1 クラブ、**純増 2 名**といたしました。

第 2660 地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強は RI が求めている数値は地区全体で 3%増であります。よって、本年度第 2660 地区目標は各クラブ純増 2 名といたしました。増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。

通常増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増 2 名を達成して頂きたく存じます。

#### 【2016 年規定審議会】

2016 年 4 月 10 日-15 日 シカゴにて、2016 年規定審議会が開催されました。

当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5 月 21 日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。

今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。しかし、ロータリーの目的の第 3 項であり、当方のガバナー方針でもある“The Ideal of service”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おき頂きたく存じます。また、斉藤 RI 理事より、本年の 11 月 30 日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出すと承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

#### 【我々の最終到達点】

また、RI 会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。

そこで当方は我々を「チーム 2660」と呼ぶことといたしました。

先人が築き上げられたこの伝統ある第 2660 地区を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。

クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第 2660 地区 3650 人が「チーム 2660」として一丸となり、日本 34 地区を牽引する地区となることを願います。

---

#### 【地区大会 PR 映像】

それでは最後に 12/9-10 に行われます、地区大会の PR 映像をご覧いただきますが、この PR 映像に、当方から一言付け加えさせていただきます。地区大会で祝能を披露頂く、能楽師である当クラブの大槻文藏会員が 7/15、人間国宝に認定されました。この PR 映像作成後に認定の一報が入りましたので、僭越ながら申し添えさせていただきました。それでは 5 分程度となりますので、ご覧ください。



また、地区大会の最新情報を追加としてご紹介いたします。

まず、一日目の分科会の会長・幹事部門のアドラー心理学者の岸見一郎先生の演題が決定いたしました。「嫌われる勇気、そして幸せになる勇気」でございます。どちらもベストセラーであり、ご存じの方も多いと思います。また、財団・一般部門ではユニセフ ニューヨーク本部からポリオ根絶チーム上席アドバイザーの山口郁子氏を招聘いたします。その後は大谷パストガバナー、福家パストガバナーにご登壇頂き、シンポジウムを開催いたします。

最後にメインイベントになります2日目の特別基調講演は、毎日新聞編集者 岸井成格氏をお迎えして、「日露首脳会談と政局の行方」につきましてご講演頂きます。北方領土返還の機運が高まる昨今、12月15日にはプーチン大統領が来日し、山口で安部首相と対談されるという非常にタイムリーな話題であると存じます。

友愛の広場では、ユニセフから貸与を受け、ポリオ撲滅関連として今話題のバーチャルリアリティーを実際にお使いいただけるコーナーやパネル展示もございます。

12月9日、10日、年の瀬を控えておりますが、皆様の御来場をお待ちしております。

以上を持ちまして、公式訪問の卓話とさせていただきます。

最後になりましたが、貴クラブの更なるご発展と会員の皆様の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

以 上



第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
**YAO EAST ROTARY**